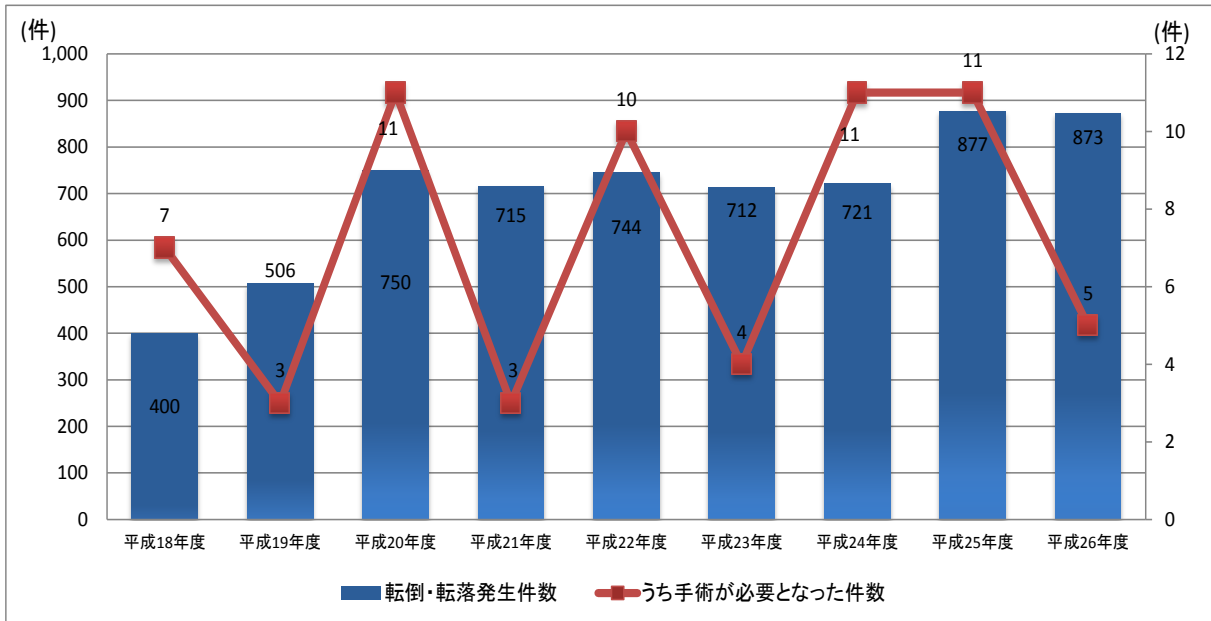


15. 入院患者の転倒・転落発生数とその中で手術が必要となった件数



転倒転落事故は、院内で発生している事故の中でも件数が非常に多い。転倒転落に至る要因としては加齢に伴う筋力・バランス能力の低下や、入院に伴う環境の変化、さらには疾患や怪我に伴うもの、薬剤の影響等多岐にわたる。

転倒転落事故件数の増加の背景には入院患者そのものの増加や入院患者年齢の高齢化に伴うものと考えられる。しかし、骨折等の重大な合併症を伴う事例は減少に転じている。事故防止に対しては病院全体として取り組む必要があり、多職種でのワーキンググループを結成し、事故防止のための活動を行っていることによると考えられる。

データ提供 医療の質・安全対策部 安全管理室